

うつわ【器】



グラスに移る自然の美しさと地球のパワー 富士宮市

お気に入りの器との出会いは、いつも突然だ。手にとった瞬間の重量感や手ざわりから、一つの器によって彩られていく様々な暮らしのシーンが広がる。そんな器と出会えた時は、この上ない幸福感に満たされる。

富士山の懐に自宅兼工房を構える、宙吹きガラス作家の石垣幸秀さん。工房の前には田園風景が広がり、作業台に腰を下ろすと石垣さん自作の「富士見窓」から富士山を望む絶好のロケーションだ。「光の当たり具合や水の注ぎ加減で、色々な表情を見せてくれるグラスが日常の中にあったら楽しいですね」と語る石垣さん。手をかけすぎず、熱と共演しながら自在に変化していくガラスの、ありのままの魅力を楽しみながら表



現する。弾むように散らばる水泡や朝霧のような筋、ふつふつと湧き立つマグマを思わせる無骨な曲線など、今にも動き出しそうなグラスたちは、石垣さんが愛する自然の美しさや宇宙の神秘を映し出してくれる。

N 宙吹きガラスで宇宙を表現
がらす工房 空良 (そら)

Note 〒418-0112 静岡県富士宮市北山1384 ☎0544-58-1559
時間・休日 / 訪問前に要問い合わせ 8・9月はギャラリー見学のみ (2012年は8月12日~14日休業)
🚗 新東名 新富士ICより約25分 / 東名高速 富士ICより約35分



普段使いの器以外にも、デザイン性の高い鑑賞向けの器や鉄などを組み合わせたアート作品など、ジャンルや素材の枠を超えてガラスの魅力を伝え続ける石垣さん。ガラスの美しさを最大限引き出すために、1100℃前後の高温で作品作りを行う。制作に使う窯や道具、併設のギャラリーなど、すべて自ら手掛けるなど、工房の随所にこだわりが息づいている。工房ではガラス器作り体験もできる(要予約)。





穏やかな時間が愛おしくなる優しい器 富士宮市

前ページの石垣さんから、「富士宮市に工房を構え、素敵な器を作る女性陶芸家がいる」という話を聞き、工房をたずねてみることに。「がらす工房 空良」から車でおよそ30分。入り組んだ路地を抜けると、山々に抱かれた森の中に一軒のモダンな住宅が建っていた。自宅の奥にある工房に足を踏み入れると、ろくろの前にはガラス越しに一面、緑の芝生が広がっていた。窓の外に広がる自然の移ろいを眺め、愛犬と戯れる子どもの様子を時折目を遣りながら、土と向き合う山崎裕子さんの器は、まるで彼女が慈しむ日常を映し出すかのように穏やかな色合いの作品が多い。色調の優しさとは反するように「ラインがだらしくならないよう心がけています」と話す山崎さんの器のもう一つの魅力は、その凛としたたたずまい。半磁器にすることで薄く焼き上げられた口やシャープな姿が、飲み口や持ち手など使い心地のよさを演出すると共にモダンな印象を与える。シンプルでありながら、存在感のある山崎さんの器と過ごす日々のイメージが、器の向こうに広がった。

N 森の中にぼつりと建つモダンな工房
yamyam studio (山崎)

Note 〒418-0108 静岡県富士宮市猪之頭2541-2 ☎0544-52-1505
時間 / 10:00~16:00(平日) 訪問前に要問い合わせ 休日 / 土曜・日曜・祝日
<http://yaplog.jp/yamabiko/> (ブログ)

 新東名 新富士ICより約50分 / 東名高速 富士ICより約60分

5歳と3歳の男の子の母として、自然に囲まれた穏やかな時間に身を委ねながら、自宅兼工房で作陶を行う山崎裕子さん。シンプルでありながら見る方向によって表情を変える繊細な色合い、シャープな口当たりなど、女性らしい感性が光る。工房には、山崎さんの作品を手にとれるギャラリースペースもある。

